

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果分析（中学国語）

学校名 逗子中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>全体的に神奈川県・全国の平均をやや上回っている。</p>
<p>話すこと 聞くこと</p>	<p>○相手に分かりやすく伝わる表現について理解する 問題については、全国 神奈川県から有意に優れている。 ●話合いの話題や方向を捉える 問題について課題が残る</p>
<p>書くこと</p>	<p>○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く 問題についてはやや全国を上回る。</p>
<p>読むこと</p>	<p>○文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをもつ 問題に対しては全国 神奈川県を有意に上回っている。</p>
<p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p>	<p>○「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために，投稿先の名前と住所を書く 問題では全国 神奈川県を有意に上回っている。</p>
<p>生徒質問紙 国語に関する質問 問 40～48</p>	<p>○国語の授業で学習したことは，将来，社会に出たときに役に立つと思いますかという問いに対して 9 割以上の生徒が役にたつと思っている。 ●国語の授業で学習したことを，普段の生活の中で，話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか という問いには 6 割程度の生徒が肯定的に答えている。普段の生活の中での国語の視点を持たせていかなければならない。</p>

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果分析（中学数学）

学校名 逗子中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>○数学についての正答率は、神奈川県・全国の平均を上回っている。</p> <p>●関数の正答率は、神奈川県・全国の平均とほぼ同等である。他の領域に比べると点差が少なく関数の定着に課題が残る。</p> <p>説明をする問いに対しての無答率が高く、わかるところまで取り組むという指導に不足がある。</p>
<p>数と式</p>	<p>○総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。問いに対しては、全国 神奈川県よりも有意に差がある。</p> <p>●簡単な連立二元一次方程式を解くことができる 問いに課題が残る。</p>
<p>図 形</p>	<p>○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる問いについては全国 神奈川県に比べて有意に差がある。</p> <p>●結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる問いについては無回答率が高く、取り組む態度の指導に課題が残る。</p>
<p>関 数</p>	<p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる 問題では有意に全国 神奈川県と差がある。</p> <p>●グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる問題に課題が残る。</p> <p>生徒の苦手意識が強いのか、この領域の問題には無回答率が多い。</p>
<p>資料の活用</p>	<p>○資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる 問題については全国 神奈川県より有意に上回っている。</p> <p>●簡単な場合について、確率を求めることができる 問題について課題が残る。</p>
<p>生徒質問紙 数学に関する質問 問 49～53</p>	<p>○数学の授業をの内容がよくわかる生徒が多い。</p> <p>●数学の勉強が好きな生徒が他の国語や英語に比べて少ない。</p> <p>数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか と思っていない生徒が多い。</p>

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果分析（中学英語）

学校名 逗子中学校

調査結果の概要及び教科の課題等（○良かった点や特徴ある点等 ●課題や改善点等）

<p>結果の概要</p>	<p>○英語全般に対して全国に比べて有意に優れている。 ●説明を要求する設問に対しての無答率が高く、あきらめてしまっている感じを受ける。</p>
<p>聞くこと</p>	<p>○日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる。問いについては全国 神奈川県に比べて有意に優れている。 ●日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる。問題については神奈川県の平均に比べて課題が残る。</p>
<p>話すこと（参考値）</p>	<p>○聞いて把握した内容について、やり取りすることができる。問いに対しては全国に比べて有意に優れている。 ●月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる。問いに対して全国に比べて有意に課題が残っている。</p>
<p>読むこと</p>	<p>○日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる。まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる。問題に対しては全国 神奈川県に比べて有意に優れている。 ●書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる。問題に対して課題が残る。</p>
<p>書くこと</p>	<p>○文の中で適切に接続詞を用いることができる。一般動詞の 2 人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる。問題については全国 神奈川県に比べて有意に優れている。 ●与えられた情報に基づいて、3 人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる。問題に対しては全国 神奈川県に比べて有意に劣っている。</p>
<p>生徒質問紙 英語に関する質問 問 54～66</p>	<p>○英語の勉強は大切だと思っていて、将来役に立つと思っているが、勉強が好きではない生徒の比率が多い。 ○学校の授業以外で英語に触れるチャンスが十分ないと感じている生徒が全国神奈川県に比べて有意に少ない。</p>

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果分析（生徒質問紙）

学校名 逗子中学校

特徴的なことや課題と考えられること等

○朝食を毎日食べていますか が 全国 神奈川県に比べて多い。

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか が全国神奈川県に比べて多い。

人が困っているときは、進んで助けていますか という問いに肯定的な答えをする生徒が全国や神奈川県に比べて多い。

学校の授業時間以外に、読書をしますか は 全国神奈川県に比べて 長時間読書をしている。

●ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか という体験をしている生徒が少ない。

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか 失敗をしたがらない傾向が見受けられる。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか を肯定的にとらえる生徒が多い。
今住んでいる地域の行事に参加していますか という問いではあまり地域行事に参加していない
授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか 生かし切れていない回答が多い。

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果を受けての学校としての取組

学校名 逗子中学校

調査の結果を受けて、今後の指導改善に向けて学校として取り組むこと

- ・無回答率をさげることが、困難に対して取り組む姿勢を養うので指導をしていく。
- ・説明をしたり、書いたりする部分では無回答率が多いので、授業や各種活動の中で書かせる指導をおこなっていく。
- ・現状での朝食の摂取率が高いのでこれは保護者と協力して維持できるように取り組む
- ・読書時間も長い生徒が多いので、長い生徒に対して 短くならないような工夫を行うのと同時に読まない生徒に読ませる工夫を行っていく。
- ・授業で学んだことをほかのことに生かせるようにしていく。
- ・いじめについての指導を再度行う。